

暑さ対策 ～ 千葉市への要望を提出しました (2024年5月)

昨年の夏の暑さは統計史上にない突出した高温を記録し、これは新たな災害といえます。
気象庁平均気温グラフ

https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/temp/an_jpn.html

今後異常な高温が常態化するおそれがあり、何らかの対策を求めます。

特に玄関から公共施設、交通機関、商業施設までの距離が数分を超える家庭などでは移動中命の危険を感じるほど健康への影響を受けました。

猛暑日が一ヶ月以上も連続し暑い日は室内に待機といっても生活のために外出しなければならないため暑い日でも外出せざるを得ません。

個人でできる対策ではもう限界があり、何らかの行政からの対策を考えていく必要があるとおもます。

例として、

1. 猛暑対策への補助

熱中症予防のための猛暑対策商品、サービスなど購入、設備投資

2. 住宅地での打ち水作戦推進

去年は雨が少なかったことが暑さの原因の一つであったこともあって、散水による冷却と蒸発熱による効果もあるとおもいます。

また近年の災害で各地域にある井戸水の活用が見直されていますが、各町内の井戸水を活用した散水を促すことなどは、災害時の訓練としても効果があるとおもいます

(現在では井戸水を洗車に使っている程度)

3. 商店街、都市部のミスト設置推進

井戸がなく人が多数集まる場所にはミスト装置の設置を奨励または補助などで推進する

4. その他

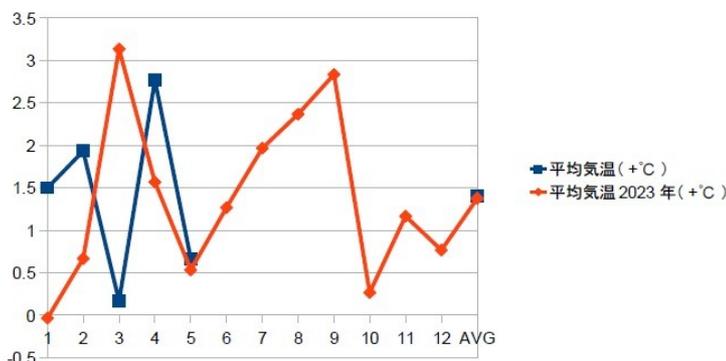
長期的にはこれまで同様の温暖化対策なども必要

～ 以上 2024年5月提出内容

以下、参考情報

・ 2024年の月ごとの平均気温(青色)と昨年2023年(橙色)との比較

(今のところ昨年2023年とほぼ同様の暑さで平均気温+1.5程度となっている)



・ 昨年からの暑さの最新情報

原因として温暖化に加え、他の要因としてエルニーニョ現象、エアロゾルの減少、最近の火山噴火でエアロゾルより水蒸気が多かったことなどの説がいられている。今後エルニーニョがラニーニャになり世界平均は多少低化するとしても、日本ではむしろ高温化の要因になるとの予測がみられる。